

# 評価区分：SNS サービス利用の安全管理評価

2017年7月

一般社団法人保健医療福祉情報安全管理適合性評価協会

## 1. 概要

昨今、情報共有での便利なツールとして、**Social Network Service**(以降 **SNS**)が普及してきている。通常はコミュニティ型の会員制サービスとして **Web** サイトによって提供され、仲間を指定しメッセージを送信すると、手軽にかつリアルタイムに情報共有でき、連絡手段として重宝されている。医療・介護情報連携ネットワークへの活用も期待されている。

ただし、**SNS** の利用において、アカウントのなりすまし、意図しないページやアプリへの誘導により詐欺等を狙った攻撃、アクセス権等のプライバシー設定が不完全であることによる情報漏えい等が起こっている例もあることから、注意した上で利用する必要がある。特に医療・介護情報連携において **SNS** を利用する場合、共有すべき情報が患者に関する個人情報や医療・介護情報、生活情報であったりすることから、利用する **SNS** について正しい知識を持った上で、利用や運営をすべきである。そこで、当 **HISPRO** では医療・介護情報連携において **SNS** を利用する際に気を付けるべき事項をチェックシートとしてまとめた。

このチェックシートに基づく、**SNS** 利用を進める連携組織の管理状態の評価は、当 **HISPRO** の設立趣旨に合致し、評価事業目的に適合しているため、「医療・介護情報連携において、**SNS** を利用する際に気を付けるべき事項の安全管理評価」を行う。

## 2. 詳細対象

医療情報連携において、**SNS** を利用する組織での管理体制

## 3. 評価の視点

チェックシートに記載した評価項目と評価内容に記されている。

評価業務においては、**SNS** 利用に当たってチェック事項に沿った「契約・合意文書の有無」「運用管理規則の有無」「技術的事項の確認の有無」「**SNS** 提供事業者からの提供情報の確認」など、原則として評価項目の示すエビデンス書類の存在審査である。

運用規則等の実運用性が疑われる場合、あるいは現地における審査が必要な場合は実地調査もありえる。また、2年後の更新審査でサービス利用者としての医療機関等の運用環境等への立ち入り、その実効性を評価する場合がある。

## 4. 評価手順

- 1) 評価申請書提出
- 2) チェックシートの申請者へ提示
- 3) 評価費用見積もり

申請者においても提出前に確認済であることを前提に、原則として再提出等の手順は踏まず一度の評価で合否を終了する。

- 4) 契約、手付金支払い(試行期間中は後払い可)
- 5) 評価者のアサイン

- 6) 申請者によるチェックシート記入・提出
  - 7) 評価業務：チェックシートに示されたエビデンス文書の確認。
  - 8) 評価判定会議
  - 9) 結果の通知
  - 10) 残金(有れば)支払い
  - 11) 評価結果の公表
5. 提出書類
- 1) 評価申請書
  - 2) 申請者が記載したチェックシート
  - 3) 2) のエビデンスとなる文書（該当部の抜粋でも可）

以上